

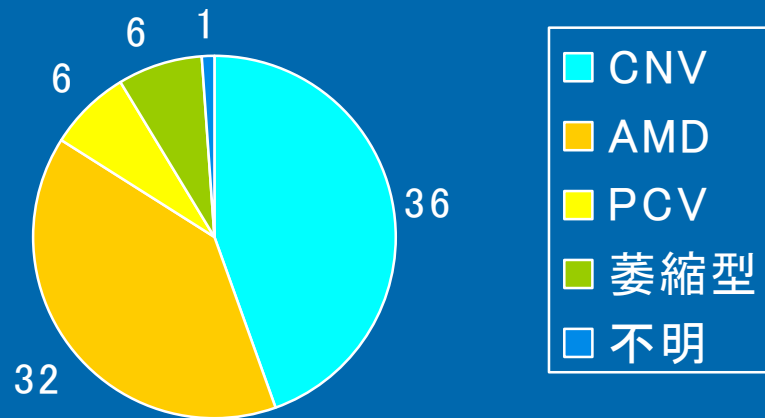
黄斑変性への鍼施術が、 視力に及ぼす影響について

千秋針灸院

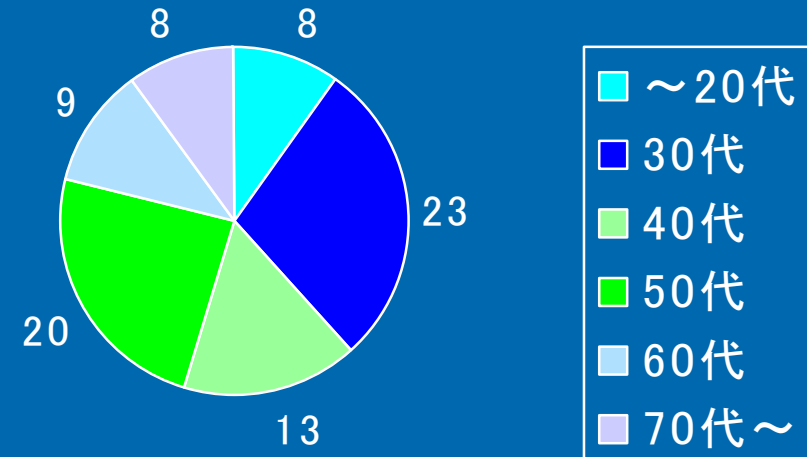
春日井 真理 菊池 真樹子

対象・81名107眼

診断別



発症時年代別



- 施術開始から3ヶ月時点
(施術回数 平均19.5回±5.9回)
- 全体の内、43名56眼は、24ヶ月間施術を継続

施術方法



- ステンレス鍼 (山正社)
- (体幹部) 直径0.18ミリ・長さ39ミリ
- (目周囲) 直径0.14ミリ・長さ30ミリ

- (刺針部位)
頸肩部・背部・四肢・顔面部
- (置針時間)
伏臥位、仰臥位で各15分置針



測定・評価の方法



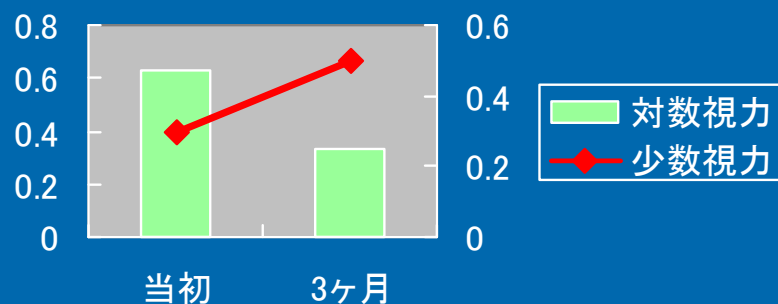
- (方法)
視力測定 液晶視力表
SC-2000 (NIDEK社)
- 5m 字ひとつ視力
- 初回少数視力1.0以上は除外
(14眼)



- (判定基準)
3ヶ月・24ヶ月時の視力変化
- 対数視力 ± 0.2 未満は不変
- ± 0.2 以上は、それぞれ有効・
悪化
- $+0.3$ 以上の改善は著効

施術期間別の平均視力の変化

3ヶ月・平均視力の変化(n=93)



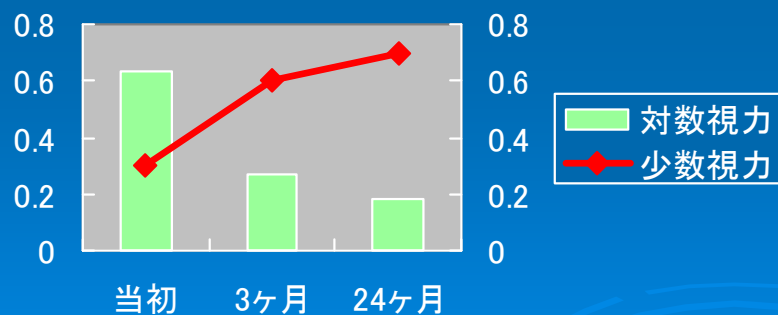
➤ 3ヶ月施術93眼

平均視力(対数/ 少数)

鍼施術前 0.63/ 0.3

3ヶ月 0.33/ 0.5

24ヶ月・平均視力の変化(n=47)



➤ 24ヶ月施術47眼

平均視力(対数/少数)

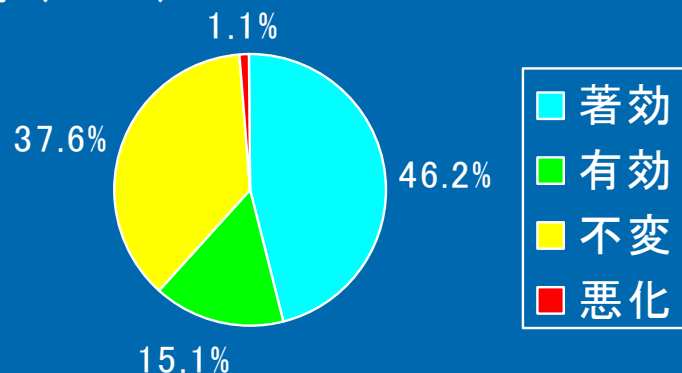
鍼施術前 0.63/ 0.3

3ヶ月 0.27/ 0.6

24ヶ月 0.18/ 0.7

施術期間別の視力変化の割合

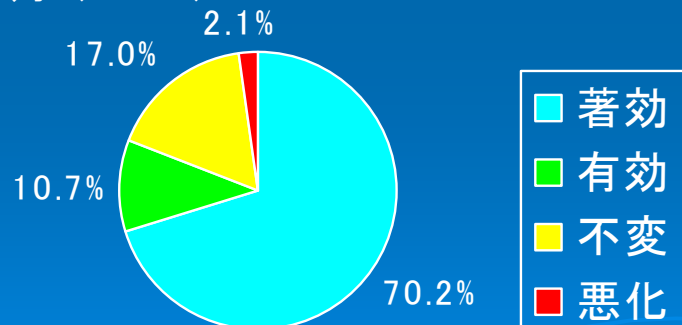
3ヶ月 (n=93)



➤ 3ヶ月施術93眼
有効以上61.3%(57眼)

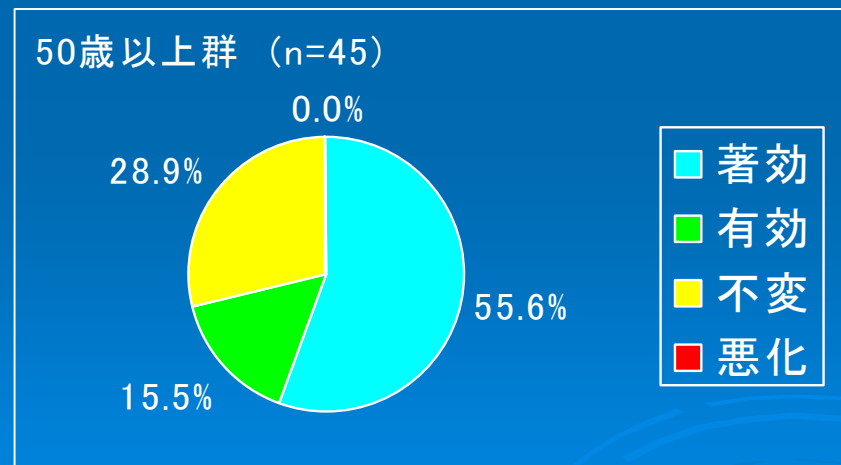
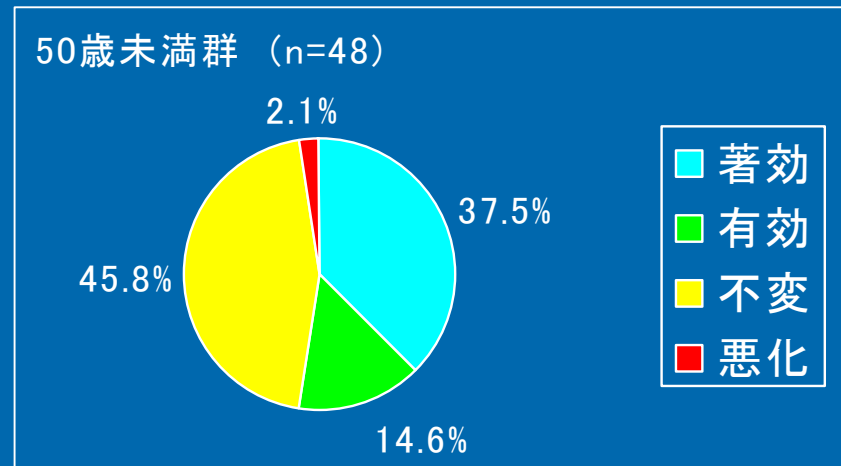
➤ 24ヶ月施術47眼
有効以上80.9%(38眼)
少数視力1.0以上を34.0%
(16眼)が維持

24ヶ月 (n=47)



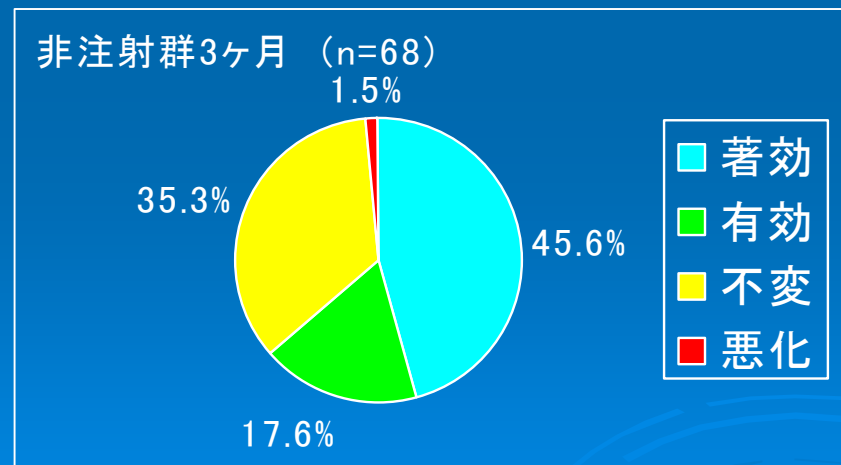
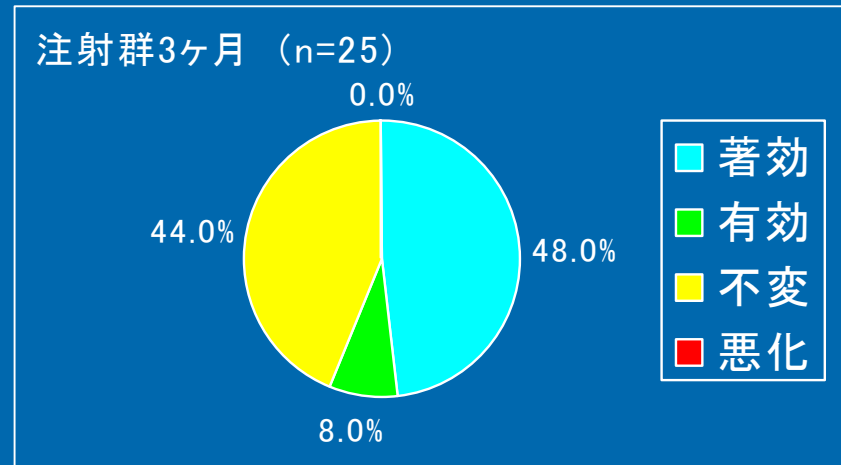
➤ 24ヶ月施術47眼の、3ヶ月時の有効以上は72.3%(34眼)

発症年齢別の視力変化



- 50歳未満群 有効以上
 - ・3ヶ月 52.1%(25/48眼)
 - ・24ヶ月 77.3%(17/22眼)
- 50歳以上群 有効以上
 - ・3ヶ月 71.1%(32/45眼)
 - ・24ヶ月 84.0%(21/25眼)
- 施術開始から3ヶ月時点では50歳以上群に著効例が多く、年齢による差がみられた

抗VEGF硝子体内注射の影響の有無



➤ 注射群 有効以上

- ・3ヶ月 56.0%(14/25眼)
- ・24ヶ月 76.9%(10/13眼)

➤ 非注射群 有効以上

- ・3ヶ月 63.2% (43/68眼)
- ・24ヶ月 82.4% (28/34眼)

➤ 施術開始3ヶ月後の視力変化に差はみられなかった

考察

- 鍼施術は、視機能維持に役立つ可能性が示された
- 若年者よりも中高年者への効果が高い傾向がみられた

課題

- 中心暗点や歪みなどの変視症全般への取り組み
- 眼科領域の様々な疾患への鍼施術を検証